

# プレスリリース

株式会社スリーディー・システムズ・ジャパン  
〒150-6027 東京都渋谷区恵比寿4-20-3  
恵比寿ガーデンプレイスタワー27F  
[www.3dsystems.com](http://www.3dsystems.com)  
NYSE: DDD

投資に関するお問い合わせ: [investor.relations@3dsystems.com](mailto:investor.relations@3dsystems.com)  
メディアからのお問い合わせ: [press@3dsystems.com](mailto:press@3dsystems.com)

## 3D Systems がイノベーションを促進、業界を革新 する新製品を Formnext 2024 で発表

- PSLA 270 ソリューション — 新しい中型プロジェクタベースポリマー 3D プリンティングソリューション、Wash 400/Wash 400F および Cure 400 — 最終用途部品の生産を高速化
- ヨーロッパで先行販売される Figure 4® Rigid Composite White および Accura® AMX Rigid Composite White は、高解像度、高剛性の部品を実現でき、効率の向上に役立ちます
- 一連の新しいプリントプラットフォームおよび材料により、研究開発への継続的投資を強化して、競争上の優位を獲得できます

サウスカロライナ州ロックヒル、**2024 年 11 月 7 日** - [3D Systems](http://www.3dsystems.com) (NYSE:DDD) は本日、Formnext 2024 で展示するいくつかの新製品を発表しました。これには、お客様のさまざまなアプリケーションニーズを満たし、イノベーションを促進するために役立つ、高度なプリンティングテクノロジーや材料が含まれています。当社は、光造形 (SLA) および Figure 4® ポートフォリオの次世代製品の発売を予定しています。これには、Wash 400/Wash 400F および Cure 400 を含む PSLA 270 フルソリューション、Figure 4 Rigid Composite White および Accura® AMX Rigid Composite White が含まれます。これらの製品は、真の生産アプリケーションに対応し、部品の製造時間短縮に貢献します。さらに、3D Systems は、生産性、柔軟性、性能の向上に役立つ新しい材料によって SLS ソリューションポートフォリオを強化し、アプリケーションの効率と再現性向上に寄与するようにマルチジェットプリンティング (MJP) 材料ポートフォリオを拡張し、当社の DMP Flex 200 用の新しい粉末管理用周辺機器 INVAC3D (Delfin Industrial Vacuums が開発) を紹介しました。これらの広範囲にわたる新しいテクノロジーは、継続的なイ

ノベーションを通じてお客様による製品とサービスの提供方法の変革を支援することに対する、当社のコミットメントの表れです。

### **PSLA 270: 光投影の速度、SLA の品質と信頼性**

[PSLA 270](#) は、高速なプロジェクタベースの SLA 積層造形ソリューションであり、きわめて安定した機械特性を持つ中型の高品質部品を効率的に製造できます。コンパクトでコスト効率が高く汎用的なこの中型 3D プリンティングソリューションは、SLA の特長である比類のない精度および初回製品の高い成功率と、[Figure 4](#) プロジェクタベーステクノロジーの驚異的な速度および材料ポートフォリオを両立させています。

Formnext で 3D Systems が紹介する [Wash 400/Wash 400F および Cure 400](#) は、部品の洗浄、硬化、乾燥を目的とする専用後処理ソリューションです。

- 3D Systems の Wash 400 (不燃性洗浄液をサポート) および Wash 400F (IPA などの可燃性洗浄液をサポート) を使えば、樹脂プリント部品の手動でのクリーニングがほぼ不要になります。デュアルシステム設計により、「ダーティ」および「クリーン」洗浄ワークフロー、ばらばらの部品またはビルドプラットフォーム全体用の部品ホルダ<sup>1</sup>、および部品を洗浄液から取り出すためのピストンリフト機構を備えています。どちらのソリューションも、シンプルで直感的なユーザインターフェイスを備え、400 mm のビルドプレートを収容できるので、プロフェッショナル向けや産業用のワークフローおよび設備に最適です。
- 3D Systems の Cure 400 は、UV 硬化型樹脂の後処理を行うためのスケーラブルなオプションを提供する高度なツールです。部品の影を減らすための回転テーブル、フルスペクトラム LED、400 x 400 x 400 mm の硬化体積を備えています。Cure 400 は、3D Systems のポートフォリオのすべての UV 硬化性樹脂が使用可能なので、後処理ソリューションとして長く利用できます。スケーラビリティを考慮した設計により、中型プリンタシステムの床面積とユーザワークフローの最適化に役立ちます。合理化された製法により温度と UV 照射を制御することで、最適な材料特性を達成し、回転式の部品プラットフォームにより UV 照射を均一化することで、硬化体積全体で均等な硬化を実現します。

Wash 400、Wash 400F、Cure 400 は、すべての 3D Systems SLA システム (体積は Wash および Cure の上限まで)、すべての [Figure 4](#) システム、すべての PSLA システムと組み合わせて使用できます。これらの製品の一般提供は、2025 年第 1 四半期を予定しています。

**硬質材料により高剛性の部品を実現し、後処理の必要性を最小化**

---

<sup>1</sup> プリンタのハードウェアによっては、別売のアダプタが必要な場合があります

3D Systems の SLA テクノロジは、自動車産業やモータースポーツ分野のさまざまな部品の製造に関して高い評価を得ています。たとえば、F1 チームは、このテクノロジと、3D Systems の材料ポートフォリオ、アプリケーションに関する専門知識、ソフトウェアを組み合わせることで、風洞試験用に高剛性の空力部品を製造しています。当社は現在、同じ機能を [Figure 4](#) および PSLA270 テクノロジプラットフォームに拡張することで、部品の入手までの時間を短縮しようとしています。現時点で、3D Systems は、[Figure 4 Rigid Composite White](#) および [Accura® AMX Rigid Composite White](#) のヨーロッパ市場での販売を開始しようとしています。これらの材料は、複数のプラットフォームを通じた材料のシナジーにより、部品製造の柔軟性の向上に寄与します。これにより、当社の Figure 4、SLA、PSLA テクノロジを利用して、優れた表面品質の高剛性部品を、短いターンアラウンドタイムで製造できます。これらの材料は沈殿しにくいいため、高い安定性と、材料メンテナンスの必要性の大幅な低下により、プリンタの稼働時間が増加します。これにより、高解像度部品の製造ワークフローの効率が高まります。これらの材料に最適な用途としては、風洞試験用部品、短期使用の小型工具、治具や固定具、液体に接する部品などが挙げられます。

Figure 4 Rigid Composite White および Accura AMX Rigid Composite White は、2024 年 12 月にヨーロッパで販売開始される予定です。他の地域におけるこれらの材料の販売開始は、2025 年前半を予定しています。

### 新しい SLS および MJP 材料による対応可能な用途の拡大

3D Systems の [SLS 380](#) は、工業スケールの高スループットプロセス制御型積層造形ソリューションであり、粉末焼結積層造形法による生産に使用できます。当社の SLS 材料ポートフォリオと、高性能材料および小規模生産に対応した SLS MDM または連続単一材料生産ワークフローに対応した SLS MQC と組み合わせることで、生産性、柔軟性、性能の強化が可能です。このプラットフォームには次の特長があります。

- 温度の一貫性向上: ビルドチャンバ内の 8 個の独立調整式ヒーターが、毎秒 100,000 回のサンプリングが可能な内蔵高解像度赤外線カメラを通じて、温度アルゴリズムによって管理されます。高度に制御された温度プロファイルにより、ビルドチャンバの均一性が向上し、生産環境での部品の一貫性と歩留まりの改善を実現します。
- 再現性の高い部品、高い歩留まり: SLS 380 は、水冷式レーザ、PA-11、FR などの高性能材料の使用を可能にする強化されたレーザ窓、および高精度で一貫性の高い部品を製造できる高精度のモーションコントロールにより、一貫したビルド品質を実現します。これにより、すべての部品、ビルド、マシン、サイトにわたる高レベルの再現性が得られます。

このプラットフォームを補完するものとして、3D Systems はいくつかの新しい材料を Formnext で発表します。これには、[DuraForm® PA12 Black](#)、[DuraForm TPU 90A](#)、[DuraForm PA CF](#)、[DuraForm FR 106](#)、[DuraForm PA 11 Natural](#)、[DuraForm PA 11 Black](#) が含まれます。プリンタはただちに購入可能であり、材料は 2024 年 12 月出荷予定です。

さらに、Formnext 2024 で、3D Systems は ProJet® MJP 2500 Plus 向けの 2 種類の新しい材料を展示します。[VisiJet® Armor Max \(M2G-JF\)](#) は、ABS に似た強靱で透明な高性能プラスチックであり、強度と靱性のバランスに優れています。強化された組成により、広範囲の高度なプロトタイプ作成用途で、生産効率と再現性の向上をもたらします。[VisiJet M2P-CST Crystal™](#) は、高耐久性の鋳造用樹脂であり、ジュエリー用途や工業用途向けに使用できます。この材料を使えば、繊細な形、薄い壁、メッシュパターンを含むさまざまなクラスのジュエリーを製造でき、指輪、プレスレット、ペンダント、ブローチなどに適しています。また、ワックスでの取り扱いや後処理手順に耐えられない複雑な形状のプリントが可能になります。エンジニアリングの成果であるこのブレンド型アクリレートは、ワックスと安定化成分を使用して強度と耐久性を高めていながら、完全に燃え尽きるため、フィットテストモデル、プロトタイプ作成、消費財の鋳造といった用途に最適です。

また、3D Systems の [DMP Flex 200](#) プリンタ向けの新しい粉末管理用周辺機器も展示されます。Delfin INVAC 3D は、積層造形プロセス中に金属粉末を安全に抽出して再使用するための真空システムです。粉末管理・格納ソリューションの世界的メーカーである Delfin が開発したこのシステムは、3D Systems の DMP Flex 200 を使用する歯科技工室の要件を満たすように設計されています。Delfin INVAC 3D は、最先端の気密クローズドループテクノロジーを採用し、金属粉末を 3D プリンタから安全に抽出できます。積層造形プロセス全体を通じて連続的に金属粉末を回収して再使用できるので、効率の向上とコストの削減が可能になります。INVAC 3D は、Formnext の Delfin ブース (ホール 11.1、スタンド D01) で見ることができます。

「お客様の創意工夫が、当社のイノベーションの原動力となっています」と、3D Systems の製品担当バイスプレジデントでテクニカルフェローでもある Marty Johnson は述べています。「お客様のエンジニアリングチームと密接に協力することで、当社は積層造形の限界を押し広げています。お客様のニーズの進化に追随するため、当社は常にソリューションのポートフォリオを拡大しています。今回新たに追加されるアクセサリと材料は、お客様中心のイノベーションが競争上の優位をもたらすことを示す好例です」

これらの製品は、11月19～22日にドイツのフランクフルトで開催される Formnext 2024 で、3D Systems のブース (ホール 11.1、ブース D11) に展示されます。さらに、当社のソリューションは次のカンファレンスプログラムの中でも紹介される予定です。

- QuickCast Air™ - 3D  
プリントによるインベストメント鋳型パターンの効率性を次の段階へ推し進める (11月20日、午前 10:15～10:30、Technology Stage、ホール 12.0)
- エネルギー業界における規制の厳しい部品の分散型製造が持つ利点を実現する (11月20日、午前 11:30～11:50、Application Stage、ホール 11.1)
- PSLA 270: 光投影の速度。SLA の品質と信頼性。 (11月20日、午後 2:30～2:45、Technology Stage、ホール 12.0)
- Model No. は積層造形により持続可能な高級家具を再定義 (11月21日、午前 10:30～10:50、Application Stage、ホール 11.1)

詳細については、[当社のウェブサイト](#) をご覧ください。

#### 画像キャプション

3D Systems の PSLA 270 ソリューションは、生産アプリケーション向け部品の製造時間を短縮します。

#### 将来の見通しに関する記述

本リリースの特定の記述は、過去または現在の事実の記述ではなく、1995年米国民事証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) の意義の範囲内における将来の見通しに関する記述です。将来の見通しに関する記述には、当社の実際の結果、業績または成果が過去の結果あるいは将来の見通しに関する記述によって明示または暗示される将来の結果または予測と大幅に異なる可能性がある既知および未知のリスク、不確実性およびその他の要因が含まれます。多くの場合、将来の見通しに関する記述は、「確信する」、「信念」、「期待する」、「可能性がある」、「はすである」、「推定する」、「意図する」、「予期する」または「予定である」などの用語あるいは類似用語の否定形により特定できます。将来の見通しに関する記述は、経営陣の信念、仮定、および現状の期待に基づくものであり、ビジネスに影響を与える事象や傾向に関する会社としての信念や期待を含む場合もあり、必ずしも不確かなものではありませんが、多くは会社に管理できる範囲を超えるものです。3D Systems の米国証券取引委員会への定期提出書類の見出し「将来の見通しに関する記述」および「リスク要因」に記載されている要因、およびその他の要因により、実際の結果は将来の見通しに関する記述に反映または予測された結果と大幅に異なる可能性があります。経営陣は将来の見通しに関する記述に反映された期待が合理的であると確信していますが、将来の見通しに関する記述は将来の業績や結果を保証されるものでも、信頼されるべきものでもありません。

また、そのような業績や結果が達成される時期を正確に示すものであるとは必ずしも証明されません。記載された将来の見通しに関する記述は、記載日時点のもので、3D Systems は、将来の展開、その後の出来事または状況、あるいはその他の結果にかかわらず（ただし法令に別に定めがあるものを除く）、経営陣または経営陣に代わって示された将来の見通しに関する改訂を更新または見直す義務を負いません。

### **3D Systems** について

35 年余り前、3D Systems は 3D プリントのイノベーションを製造業にもたらしました。現在は、業界をリードする積層造形ソリューションパートナーとして、あらゆる活動にイノベーション、パフォーマンス、および信頼性をもたらすことで、これまで不可能であった製品やビジネスモデルを創出するチャンスをお客様に提供しています。当社独自のハードウェア、ソフトウェア、材料、およびサービスの製品により構成されるそれぞれの特定用途向けソリューションは、専門知識を駆使し、お客様と連携しながら製品とサービスの提供方法の変革に取り組んでいる当社のアプリケーションエンジニアにより実装されます。3D Systems のソリューションは、医療、歯科、航空宇宙と防衛、自動車、消費財など、ヘルスケア市場や産業市場でのさまざまな先進的なアプリケーションに対応しています。当社の詳細については、

<https://www.3dsystems.com> をご覧ください。

###